耳鼻いんこう科

（１）到達目標

耳鼻咽喉科領域での一般的な中耳炎、急性・慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、及び外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道などの代表的疾患が管理できるように耳鼻咽喉科の特殊性として視診の重要性、そのための額帯鏡、耳鏡、鼻鏡、咽喉頭鏡の操作の習得に努め、基本的な診断、治療を可能とする。

（２）行動目標（代表的行動）

1）耳鼻咽喉科領域における問診及び身体所見

① 適切な問診及び耳鼻咽喉頭及び気管食道所見をとることができる。
② 局所所見より全身疾患との関連が把握できる。
③ 局所所見より聴力障害が推測できる。

2）耳鼻咽喉科領域における基本的検査法および手技

① 額帯鏡を正確に、且つ迅速に操作できる。
② 耳鏡、鼻鏡を正確に使用し、所見が取れる。
③ 標準純音聴力検査、語音明瞭度検査、ティンパノメトリー、聴性脳幹反応の理論を理解し、正確な検査を行い、異常の有無を判断できる。
④ 平衡機能検査（注視眼振検査、頭位・頭位変換眼振検査、温度眼振検査、眼振電図）の理論を理解し、正確な検査ができ、異常の有無を判断できる。
⑤ 鼻咽喉頭ファイバーを操作し、正確な所見が取れる。
⑥ 食道造影、咽頭造影、唾液腺造影の手技に習熟し、異常を見つけることができる。
⑦ 点耳液および鼻用吸入液の使用方法を適切に指導できる。

3）耳鼻咽喉科領域における治療法

① 薬物治療を分類し、各々の薬理作用および副作用を説明できる。
② 補聴器の適応評価と使用方法を指導できる。
③ 耳鼻咽喉科処置について、その意義と目的を説明でき、手技の習得ができる。
④ 鼻出血時の各種止血法を理解し、必要に応じて使い分けができる。
⑤ 人口内耳の適応を理解し、説明ができる。
⑥ 鼓膜チューブ留置術の適応および方法について説明できる。

4）各疾患の治療法

① 急性中耳炎の感染経路を熟知し、その予防および治療ができる。
② 顔面神経麻痺に対する中枢性・末梢性の鑑別ができ、治療ができる。
③ 急性副鼻腔炎・慢性副鼻腔炎の診断が確実に行え、且つ各種治療方法を選択して、適切な治療が行える。
④ 急性扁桃腺炎・扁桃周囲炎および扁桃周囲膿瘍の鑑別ができ、入院治療の可否が判断できる。
⑤ 喉頭浮腫による気道狭窄の危険性が予知でき、適切な治療が行える。
⑥ 頭頸部腫瘍に対する診断・治療・予後が説明でき、各病期に応じた最適な治療法が選択できること。

（３）方略（LS）

LS1：On the job training (OJT)

1）病棟

・ローテート開始時には、指導医・上級医と面談し、自己紹介、研修目標の設定を行なう。ローテート終了時には、評価票の記載とともにfeed back を受ける。
・担当医として入院患者を受け持ち、主治医（指導医、上級医）の指導のもと、問診、身体診察、検査データの把握を行い、治療計画立案に参加する。毎日担当患者の回診を行い、指導医・上級医と方針を相談する。特に2年次研修においては、輸液、検査、処方などのオーダーを主治医の指導のもと積極的に行う。
・採血、静脈路の確保などを行う。
・抜糸、ガーゼ交換、ドレーン管理、などを術者・助手として行う。
・インフォームドコンセントの実際を学び、簡単な事項については主治医の指導のもと自

ら行う。

- 診療情報提供書、証明書、死亡診断書などを自ら記載する。（ただし、主治医との連名が必要）
- 入院診療計画書／退院療養計画書を、主治医の指導のもと、自ら作成する。

2）手術室

- 主に助手として手術に参加する。基本的な手術に関しては指導を受けつつ術者として手術を行う。
- 切除標本の観察、整理を行い、記録することによって、各種癌取り扱い規約を学ぶ。
- 執刀医による家族への手術結果の説明に参加する。

3）放射線部門

- 食道透視、嚥下透視、唾液腺造影、透視下の食道異物除去などを術者・助手として行う。

LS2：カンファレンス

- 耳鼻科カンファレンス（火曜日夕方）：担当患者の症例提示を行い議論に参加する。課題について経過内容を記載する

（4）評価（EV）

1）研修医は、ローテート終了時に自身の研修達成度を確認しながら、自己評価を行う。

2）指導医あるいは上級医は、全ての行動目標に対して、観察記録あるいは口頭試験などによる形成的評価を適宜行う。目標によっては必要に応じて看護師など医師以外の評価者も観察記録による形成的評価を行う。総合的な評価結果はローテート終了時にfeed backされるとともに、オンライン臨床研修評価システムにて記載される。

3）指導医は提出された病歴要約により、経験すべき症候・疾病・病態に関する理解度について形成的評価を行う。

【週間スケジュール例】

	月	火	水	木	金
午前	外来	手術／外来	手術	外来	手術／外来
午後	手術	検査／外来	手術	手術	検査／外来
夕刻				ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	